

マニフェスト評価委員 外部評価結果（令和5年度事業実施分）

本市は、マニフェストに係る取組の達成度について、評価の透明性及び客観性を向上させるため、外部評価を実施しています。今回、池田市政3期3年目の令和5年度について外部評価を行いましたので、その結果を公表します。

●マニフェスト評価委員

- ・委員長 みやうち たかし 宮内 孝 氏 南九州大学 人間発達学部 教授
- ・副委員長 おがみ かずひろ 尾上 和広氏 一般財団法人みやぎん経済研究所 常務理事
- ・委員 いのうえ かこ 井上 果子 氏 宮崎大学 地域資源創成学部 准教授

●令和5年度事業実施総合評価 86.6

大分類		中分類	平均
1	新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症緊急対策	87.3
2	デジタル化の推進	デジタル化の推進	91.2
3	輝きを増す3つの宝 (農林畜産業の振興)	農林畜産業の振興	86.8
4	輝きを増す3つの宝 (地の利の拡大)	地の利の拡大	85.9
5	輝きを増す3つの宝 (人間力あふれる子どもたちの育成)	人間力あふれる子どもたちの育成	90.0
6	重要施策の推進	子ども・子育て支援	88.9
		仕事と子育ての両立	90.4
		市民の健康増進	89.3
		スポーツ・文化活動の推進	85.6
		中心市街地の活性化	88.5
		地域の活性化	88.1
7	市民サービスの更なる向上	市民サービスの更なる向上	89.3
8	対外的PRの更なる推進	“肉と焼酎のふるさと・都城”の対外的PRの更なる推進	96.0
9	特色ある取組み	その他特色ある取組み	90.3
総合評価			89.1

●これまでの評価実績 ※（ ）内は実績年度

年度	1期目				2期目				3期目		
	H26 (H25)	H27 (H26)	H28 (H27)	H29 (H28)	H30 (H29)	R1 (H30)	R2 (R1)	R3 (R2)	R4 (R3)	R5 (R4)	R6 (R5)
平均	78.1	79.37	83.5	88.65	82.9	86.11	89.35	93.61	82.8	86.6	89.1

●マニフェスト9項目に対する委員の主な意見

①新型コロナウイルス感染症緊急対策

- ・新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行し、「緊急対策」としての事業は大部分を終えたが、その実施状況・結果も十分であったと評価。
- ・5類移行後も、地域内経済循環を促すスマイル商品券事業や子育て世帯の支援ともないうる給食費据置は、物価高騰対策や地域経済振興策として特に評価。

②デジタル化の推進

- ・非常に多岐にわたる実効性の高い事業が展開されており、「書かない窓口」や「リモート窓口」事業など、市民の利便性向上と職員の業務効率化につながる非常に効果の高い事業を着実に実施している。
- ・市民のITリテラシー向上に資する事業も展開することで、利用率を高める工夫もされており、今後も手段が目的化されないように留意しつつ、デジタル化が推進されることを期待。
- ・公立保育所・幼稚園が、都城市における保育・教育DXのフロントランナーとして取り組み、その成果を私立に広げるような仕組み作りができることを期待。
- ・子ども達のゲーム依存症が大きな課題となっている中で、子どもへのeスポーツの導入は、慎重な対応を期待。

③輝きを増す3つの宝～農林畜産業の振興～

- ・地域の基幹産業である農林畜産業の振興は、地域経済の持続的成長に不可欠。
- ・「農業用資産の情報バンク」や「森林環境贈与税活用事業」「リモートセンシング技術を活用した森林境界明確化事業」などは特に、根本的な課題を解決し未来の振興につながる事業であると高く評価。
- ・今後は、移住・定住施策と効果的な連携による農林業の担い手・就労者確保、防疫体制の更なる強化につながる事業を期待。
- ・都城メンチプロジェクト推進事業は、認知度を高めるための付加価値をつける手立てや、市民が都城メンチへの愛着を持ち、ソールフードと思えるような取組みを期待。

④輝きを増す3つの宝～地の利の拡大～

- ・志布志道路や工業団地の着実な整備など、企業誘致に向けた諸施策は、市の経済発展に大きく貢献するものと評価。
- ・積極的な道路改良事業は、「子どもが安心して暮らせる街づくり」という都城市のPRにも資する事業でもあると評価。
- ・今後も地の利の拡大の理解促進、子どもたちへの企業理解といったキャリア教育支援の取組を期待。

⑤輝きを増す3つの宝～人間力あふれる子どもたちの育成

- ・「洋式トイレの整備」や「生理用品の配置」、「A Iドリル導入事業」など、子どもの心理面や学習環境の変化を捉えた事業を展開し、その効果も高いと評価。今後は、学ぶことが好きになり、地域に愛着を抱くことにつながるような子ども達の主体的な学びや関わりを向上させるような工夫を期待する。
- ・医療的ケアが必要な児童生徒への支援開始までの努力を評価するとともに、今後も看護師派遣の体制づくりに尽力し、この制度が円滑にすすむことを期待。

⑥重要施策の推進

《こども・子育て支援》

- ・県内はもとより国内でも先進的と言える事業を積極的に推進しており、その効果も移住者の急増など十分に現われているが、今後は、さらに少子化の原因分析の深堀りを行い、出生数の増加につながる実効性の高い事業の企画・実行を期待する。
- ・母子生活支援等は、重要だが、困難が理解されにくく、課題解決に至りにくい分野だが、母子生活支援施設の設置は、特に貴重な価値ある前進であり、高く評価するとともに、今後もより一層のきめ細かい対応を期待する。
- ・保育士確保の取組みは、潜在保育士の復職促進と同時に、保育士を目指そうとする中高生を増やすための施策や保育士の労働環境整備・改善を推進する施策を期待する。

《仕事と子育ての両立》

- ・子ども達が育つ環境は、家庭、学校に加え、地域とのつながりがあることが望ましいが、地域で子育てを支える取り組みを高く評価できる。
- ・今後は、子どもにとって安心して過ごせる貴重な居場所である、放課後子ども教室と児童クラブの連携・統合の検討や、子どもの居場所をさらに充実させる世代間交流など、子どもの居場所の更なる充実を期待。

《市民の健康増進》

- ・市民の健康増進は、市民や市の金銭的・財政的な負担を軽減するだけでなく、地域経済の活性化にも欠かせないもので、今後も先進的な企業を参考事例とし、地元企業と連携するなどの多面的な事業の企画・実行など、着実な実施を期待。

《スポーツ・文化活動の推進》

- ・令和9年度の「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」に向けての積極的な事業展開は、「スポーツ・文化活動の推進」のみならず、地域経済にも大きく貢献しているものと評価。
- ・地域の歴史・文化財に係る事業は、子どもに地域の歴史などを学ばせることで、「地域を知る」だけでなく地域への愛着を深め、地域の将来を考え、地域への貢献意欲を高める有益なものである。
- ・スポーツスタート応援事業の幼児に提供する運動の内容については、幼児期運動指針（文部科学省）を参考にして実施されることを期待。

《中心市街地の活性化》

- ・中心市街地の再生・活性化は非常に難易度が高いが、創意工夫による企画・実行がされており高く評価。
- ・今後も環境の変化に応じた中心市街地の活性化・地域経済の活性化に何が必要かを分析し、実効性の高い施策を企画・実行していくことを期待。

《地域の活性化》

- ・ 少子化の要因（未婚率の上昇、金銭的負担など）を捉えた事業を展開し、子育て支援などと合わせて着実に事業を実行し十分な成果を上げている。
- ・ Uターン者への奨学金返還支援事業や移住応援給付金事業により、移住者数は目標をはるかに上回った一方で、これまで都城市に長年住み、地域を支えてきた住民の暮らしに混乱が起きないように、移住者の住民自治への参加推進など、質的な側面にも着目する地道な工夫や努力も今後期待したい。

⑦市民サービスの更なる向上

- ・ 市民のニーズを先取りするような様々な事業を展開し、十分な成果を上げており、災害対策に関連する事業なども、リスク社会への対応を評価でき、今後も着実な実施を期待。
- ・ オリンピックにおけるスケートボードの日本選手の活躍によって、愛好者が増加傾向にあり、今後も川の駅の整備に取り組み、利用者が増加することを期待。

⑧対外的PRの更なる推進

- ・ ふるさと納税額日本一が示すとおり、都城市の高いPR力は群を抜き、十二分な成果を上げており、財政への貢献、地域経済への波及効果、都城市の知名度向上、職員のモチベーション向上など計り知れないほどの多大な貢献を果たしている。
- ・ 関之尾公園のリニューアルや道の駅都城開館が動機となって、ふるさと納税でつながった市・県外の方が本市へ訪れる機会が増えることを期待。

⑨その他特色ある取組

- ・ 地区公民館の整備は、地域の活性化や生涯学習の推進につながる貴重な事業。
- ・ 今後は、この地区公民館という“もの”と地区公民館組織という“人”を活用した、不登校児童生徒の居場所となるような取組みの検討を期待。
- ・ 地域の資源を無駄にしない積極的な利活用と資産の保護につながる事業を着実に実行し十分な成果をあげている。

【問い合わせ】 総合政策課 電話 23-7161